

# 1 議事日程

〔平成18年太宰府市議会 予算特別委員会〕

平成18年3月2日

午後 2 時 50 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第44号 平成18年度太宰府市一般会計予算について
- 日程第2 議案第45号 平成18年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
- 日程第3 議案第46号 平成18年度太宰府市老人保健特別会計予算について
- 日程第4 議案第47号 平成18年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
- 日程第5 議案第48号 平成18年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
- 日程第6 議案第49号 平成18年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について
- 日程第7 議案第50号 平成18年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について
- 日程第8 議案第51号 平成18年度太宰府市水道事業会計予算について
- 日程第9 議案第52号 平成18年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである（20名）

委員長	武藤哲志	議員	副委員長	不老光幸	議員
委員	片井智鶴枝	議員	委員	力丸義行	議員
"	後藤邦晴	議員	"	橋本健	議員
"	中林宗樹	議員	"	門田直樹	議員
"	渡邊美穂	議員	"	大田勝義	議員
"	安部啓治	議員	"	山路一恵	議員
"	小柳道枝	議員	"	清水章一	議員
"	佐伯修	議員	"	安部陽	議員
"	田川武茂	議員	"	福廣和美	議員
"	岡部茂夫	議員	"	村山弘行	議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（23名）

市長	佐藤善郎	助役	井上保廣
収入役	松島幹彦	教育長	關敏治
総務部長	平島鉄信	総務部政策統括 担当部長	石橋正直
地域振興部長	松田幸夫	地域振興部地域コミュ ニティ推進担当部長	三笠哲生
市民生活部長	関岡勉	健康福祉部長	古川泰博
健康福祉部子育て 支援担当部長	村尾昭子	建設部長	富田讓
上下水道部長	永田克人	教育部長	松永栄人

監査委員事務局長	木村洋	総務課長	松島健二
行政経営課長	宮原仁	財政課長	井上義昭
地域振興課長	大藪勝一	福祉課長	新納照文
まちづくり技術 開発課長	大江田洋	上下水道課長	宮原勝美
教務課長	井上和雄		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	白石純一	議事課長	田中利雄
書記	満崎哲也		

開会 午後2時50分

~~~~~

委員長（武藤哲志委員） それでは、ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は各会計の概要説明として、各委員からの質疑は3月20日及び22日に行います。

~~~~~

日程第1 議案第44号 平成18年度太宰府市一般会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 日程第1、議案第44号「平成18年度太宰府市一般会計予算について」説明を求めます。

総務部長。

総務部長（平島鉄信） 平成18年度予算の基本的な考え方、主な事業につきましては施政方針の中で述べさせていただきましたので、ここでは当初予算の説明資料、これをお開きいただきますが、これによって説明を申し上げます。

まず、1ページです。1ページには平成18年度の一般会計の予算の総額その他を書いておりますが、ここでは一般会計では186億2,808万円でございます。前年度と比較しますと19億582万8千円の9.3%の大幅減というふうになっております。これが予算でございます。

次のページの2ページでございますが、その中で歳入の方については1款の市税につきましては72億5,285万4千円計上いたしまして、前年度と比較しますと688万3千円、0.1%の減でほぼ前年度並みと見込んでおりますが、地方財政計画がもう少し伸びなければいけないかなというふうにちょっと思っております、法人税がないというのが市の状況かなというふうに思っています。

内訳は、6ページをめくっていただきたいと思いますが、個人市民税については定率減税の縮減、それから高齢者に対する控除の見直しなど税制改正によりまして前年度より3億70万7千円、11.2%の増が見込まれますけれども、法人市民税は企業収益に改善の兆しがまだ見えず、太宰府の方にはまだ入ってきていないということでございますが、4.9%の減となっております。

固定資産税は、平成18年度は評価がえの年に当たりまして、2億729万9千円、6.7%の減となるというふうに見込んでおります。これは評価がえの年は必ず減額になっているようでございます。

ではまた、2ページの方に戻っていただきまして、2款の地方譲与税については国の三位一体の改革に伴いまして前年度に引き続き国県補助金の一部が一般財源化されました。それによりまして、所得譲与税として税源移譲されたことによりまして6,781万6千円増加いたしております。市の算定では、税源移譲額はほぼ国県補助金の削減額と同額というふうに見込んでおります。

次に、9款の地方特例交付金でございますけれども、定率減税の2分の1の縮減によりまし

て、約半分の49.4%減の1億4,363万3千円と前年度よりも1億3,996万7千円の減少を見込んでいるところでございます。

次に、10款地方交付税でありますけども、6.5%減の33億3,000万円と前年度より2億3,290万円減少を見込んでおります。内訳は、普通交付税が2億3,290万円の減の29億円、特別交付税については前年度同額の4億3,000万円と見込んでおります。

なお、特別交付税については史跡地が太宰府市では15%であると。あるいは大学あるいは九州国博、非課税地が非常に多いということから、今年度、平成18年度も含めまして今国の方に特別交付税の増額の要求をいたしておるところでございます。来年度についても、その要望をしてみたいというふうに考えております。

それから次に、14款国庫支出金につきましては、前年度より3億9,836万8千円減の22億3,104万5千円を見込んでおります。これは、税源移譲さっき言いましたけども、災害復旧の国庫補助金の減少によるものでございまして、平成17年度ではほぼ災害復旧の事業は終わったというふうに考えております。

18款の繰入金については、82%減の1億7,462万6千円と前年度より7億9,288万円減少いたしました。これは昨年度まで財源不足の補てんとして財政調整基金や佐野土地区画整理事業基金などの繰り入れを行ってございましたけども、今回は経常経費の切り詰めということで、先ほど市長からも説明がありましたように、財源配分を政策的な経費別に分けて、その政策ごとに配分をして減少に努めたと、そういう結果でございます。

次に、21款の市債でございますけども、今年度は災害復旧、散策路の整備、佐野土地区画整理事業の事業がほぼ終了しましたために、25.9%減の17億8,220万円と前年度より6億2,190万円減少しました。今年度の主なものといたしましては、通古賀地区整備事業、ふくおかコミュニティ無線整備事業債、公園新設事業、それに史跡地購入事業で9億8,650万円と減税補てん債、それから臨時財政対策債7億2,530万円の借り入れを予定いたしております。かなり市債を抑えた形で今回予算を組ませていただいております。

歳入総額に占める市債の割合については、前年度の11.7%から2.1%下がりまして9.6%となっております。平成18年度の市債残高は平成17年度末見込額よりも9,000万円減少しまして239億円程度を見込んでおります。

それから、資料の4ページから6ページ、これは先ほど説明しましたものを自主財源、依存財源という形で示しております。5ページ、6ページにつきましてはグラフで見やすく、わかりやすくしたつもりでございますので、後で見たいと思います。

それから、8ページに参ります。8ページからは、これを性質別で区分をして皆さんに説明を申し上げます。

8ページの義務的経費のうち、人件費は人事院勧告によります職員給与の引き下げや国勢調査が終了しましたために伴う報酬の減によりまして、前年度よりも1,138万4千円減少いたしました。

扶助費につきましては、児童手当や児童扶養手当が増加いたしておりますけれども、老人保護措置費や生活保護世帯の減少、障害者医療費や母子家庭医療等が例年のように伸びていないというふうに考えていまして、8,049万5千円減少いたしております。

公債費は3月補正、今議会に提案しておりますが、繰上償還を予定しておりますが、その影響によりまして203万3千円の微増でとどまったところでございます。しかしながら、ここ数年の財源不足から多額の赤字国債、通称臨時財政対策債というふうに言いますが、これを発行しておりますことから将来の市債残高、公債費の推移など後年度の財政運営に及ぼす影響を的確に把握して、財政の硬直化を避ける必要があるというふうに考えております。したがって、人件費、扶助費、公債費の義務的経費総額では8,984万6千円減少いたしておりますが、これも各セクションの部長、課長の努力のたまものだというふうに考えております。

次に、物件費につきましては3,358万4千円減少しております。これは中学校ランチサービス等の備品購入費等の増加はありましたけれども、臨時嘱託職員の削減や委託料、賃借料の削減によって減少をいたしたものでございます。

補助費等は消防組合負担金や下水道会計への補助金が増加したものの、大野城・太宰府環境施設組合負担金や両筑衛生施設組合負担金、コミュニティバス運行補助金が減少したことにより、5,378万4千円の減となっております。

普通建設事業費につきましては、ふくおかコミュニティ無線の設置、五条駅の進入路の新設、環境美化センターの改修、太宰府西中学校放送設備改修など新しい事業や通古賀地区の都市再生整備事業、高雄中央通線の整備事業を計画しておりますが、反面地区道路あるいは佐野土地区画整理事業、散策路の整備事業が終わりました関係で、14億650万8千円減少いたしております。

最後に、災害復旧事業につきましては平成15年7月19日の豪雨災害復旧事業が文化財施設災害復旧を残しておりますけれども、ほぼ終了したために減少をいたしたものでございます。

平成18年度のその他の主な事業につきましては、資料の9ページから13ページにそれぞれ施策ごとに主な事業を示しております。継続事業、新規事業等を主にしておりますので、後ほどご覧をいただきたいというふうに思います。

簡単でございますけれども、歳出については以上でございます。

終わりになりましたけれども、議会議員の皆さんのご指導とご協力をお願いいたしますとともに、よろしくご審議を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。

以上でございます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~

日程第2 議案第45号 平成18年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第2、議案第45号「平成18年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

健康福祉部長（古川泰博） 議案第45号「平成18年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書は251ページからでございます。歳入歳出予算総額55億9,696万4千円と前年度当初予算額に比べまして4億6,947万2千円、9.2%の増となっております。

まず、歳入でございますが、予算書では252ページと、それから257ページに歳入歳出予算事項別明細がありますので、それによって説明をいたします。

歳入の主なものといたしましては、1款国民健康保険税につきましては、税制改正によりまず老年者控除の廃止や公的年金控除の縮小に伴う税収の増、また平成12年度に介護保険制度が始まって以来据え置いておりました介護保険第2号被保険者、国保被保険者の40歳以上65歳未満の方に対する介護保険料の改定分を見込みまして、対前年度比8.9%増の19億3,198万8千円を計上いたしております。

2款国庫支出金につきましては、平成17年度の国の三位一体の改革に伴いまして、県への財源が移されましたために対前年度比8.7%、1億3,899万2千円の減となっております。

3款療養給付費交付金につきましては、退職被保険者等の増加に伴い対前年度比25.5%、2億9,399万1千円の増額となっております。

4款県支出金につきましては、先ほどの国庫支出金の減額に関連しまして、対前年度比2億2,826万5千円の大幅な増となっております。

また、7款繰入金につきましては国民健康保険事業特別会計財政調整基金からの繰入金2,910万3千円を含めまして、3億9,828万7千円を計上いたしております。

次に、258ページになります。歳出でございますが、主なものといたしましては、まず2款保険給付費でございますが、近年の医療費の増高が継続しておりますことから、対前年度比12.7%増の37億8,536万9千円を計上いたしております。

次に、3款老人保健拠出金につきましては、平成14年10月からの老人保健対象者の年齢が75歳に引き上げられ、平成19年10月までは対象数の減が見込まれますが、老人医療費が増加しておりますことから対前年度比3.7%増の12億6,739万7千円を計上し、また4款介護納付金につきましても介護保険第2号被保険者1人当たりの負担額の増が見込まれますことから、対前年度比の3.1%増、3億3,342万円を計上いたしております。

以上が歳入歳出の主なものでございますが、国民健康保険は国民皆保険を支える制度として住民の健康と医療の確保を図るという基盤的な役割を担っております。しかしながら、今日この制度は構造的に高齢者や企業からの委嘱者などが増加しており、また長引く景気の低迷などにより国民健康保険税の収入がなかなか増加しない中で、高齢化や医療の高度化などにより医療費は毎年増え続け、財政運営は依然として厳しい状況となっております。増加の一途をたどる医療費を抑制し、安心して医療を受けられる制度を維持するためにも本年度以降様々な医療制度改革が予定されておりますが、今後とも国の動向を十分把握しながら国保事業を進めてま

いりたいと考えております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~

日程第3 議案第46号 平成18年度太宰府市老人保健特別会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第3、議案第46号「平成18年度太宰府市老人保健特別会計予算について」説明を求めます。

同じく健康福祉部長。

健康福祉部長（古川泰博） 議案第46号「平成18年度太宰府市老人保健特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては、287ページからでございます。

老人保健医療受給者は、1月末現在で6,519人で、前年同月と比較いたしますと266人の減少であります。これは受給対象年齢を70歳から75歳としたことによります年齢到達者の加入が生じないことによるものでございます。しかしながら、医療費につきましては医療技術の高度化や高齢化に伴います増加により、平成18年度の当初予算につきましては歳入歳出予算総額を59億5,858万4千円、前年度当初予算額と比べますと7億7,291万3千円、14.9%の増となっております。

歳入でございますが、290ページをお願いいたします。

歳入についてでございます。1款支払基金交付金につきましては、医療費の増加に伴い前年度と比較しまして6.9%、2億1,210万6千円増の32億9,929万4千円を計上いたしております。

2款国庫支出金につきましては、前年度と比較しまして27%、3億7,192万円の増の17億4,958万8千円、3款県支出金につきましては27%、9,298万円増の4億3,739万8千円としております。

4款繰入金につきましては、25.5%、9,590万7千円増の4億7,196万8千円を一般会計から繰り入れるようにいたしております。医療費の増加及び医療費に対します公費の負担割合が上がっておりますことから、前年度当初予算額と比較しまして大幅な増加となっております。

次に、歳出でございます。

歳出の主なものについてでございますが、2款医療諸費につきましては、医療費の増加に伴い前年度と比較いたしまして14.9%、7億6,990万3千円増の59億2,398万9千円を計上いたしております。

以上、受給者に対します健康意識の高揚に向けた啓発や保健、医療、介護の連携によりまして適正な受診を推進するなど老人保健制度の安定を図ってまいりたいと考えております。よろしくご審議賜りますようお願いをいたします。

委員長（武藤哲志委員） 健康福祉部長、ただいま説明の段階で老人保健医療受給者を冒頭に説明いただきましたが、2日目の審査のときに平成16年度、平成17年度決算の関係で老人医療対象者がどのように推移しているかという資料について、今部長が説明した内容を含めて増加傾

向、こういうものについては資料が提出できますか。

健康福祉部長（古川泰博） 提出いたします。

委員長（武藤哲志委員） 先ほど健康福祉部長が老人保健医療受給者を報告されましたが、この予算書の中では出てきませんので、担当部の方から2日目の審査の段階では老人医療対象者の資料を出していただくことを委員長の方から要求しておきます。

それでは、説明が終わりました。

~~~~~

日程第4 議案第47号 平成18年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 同じく日程第4、議案第47号「平成18年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」説明を求めます。

同じく健康福祉部長。

健康福祉部長（古川泰博） 議案第47号「平成18年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書は303ページからとなっております。

まず、本市の介護保険の対象者の現状でございますが、本年1月末現在で65歳以上の第1号被保険者世帯につきましては8,769世帯、被保険者総数につきましては1万2,275人でございます。昨年同月末と比較いたしますと311世帯、516人の増となっております。平成18年度予算の歳入歳出総額につきましては33億9,326万円で、前年度当初予算の31億7,307万1千円に比べまして2億2,018万9千円の増額となり、伸び率につきましては6.94%となっております。

国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び繰入金につきましては、歳出の保険給付費に見合う負担割合により予算額を計上いたしております。

それでは、歳入の主なものをご説明いたします。

ページにつきましては309ページの歳入歳出予算の事項別明細で説明をさせていただきます。

1 款第1号被保険者の保険料は今回見直しを行いまして、今年度6億8,954万円を計上いたしております。前年度比23.96%の増、1億3,326万7千円の増額となっております。

2 款使用料及び手数料につきましては、新たに今年度から始まります地域支援事業の創設に伴いまして予算化をしたもので、72万円を計上いたしております。

3 款国庫支出金につきましては、7億8,178万5千円を計上いたしております。前年度の7.21%の増、5,258万6千円の増額となっております。

4 款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者の保険料で前年度の1.98%の増、1,905万7千円を増額し、9億8,052万6千円を計上いたしております。

5 款県支出金につきましては、前年度の7.26%増、2,732万9千円を増額し、4億353万3千円を計上いたしております。

7 款繰入金につきましては、前年度の2.85%増、1,487万6千円を増額し、5億3,714万9千円

を計上いたしております。

次に、歳出の主なものをご説明いたします。

310ページになります。2款保険給付費につきましては、介護サービス利用者の増加と予防重視のサービスの創設によりまして、前年度の4.52%増、1億3,595万6千円を増額し、31億4,054万8千円を計上いたしております。

4款地域支援事業費につきましては、今回介護保険制度の改正に伴い新たに創設したもので、6,274万3千円を計上しております。

6款公債費につきましては、第1期平成12年度から平成14年度と第2期平成15年度から平成17年度に借入れをいたしました財政安定化基金償還元金として3,272万8千円を計上いたしております。

以上が平成18年度の介護保険事業特別会計予算の主な内容でございます。平成12年度より始まりました介護保険制度も5年を経過いたしまして、介護サービス利用者の増加、さらなる高齢化の進行が予測される中で、新年度につきましては介護保険制度全般の見直しを行うとともに、今回の見直しにつきましては予防重視型への転換と新たなサービスの創設、それから65歳以上の保険料の見直しが主要な点でございます。本市におきましては、新たな保険制度に適切に対応し、高齢者ができるだけ住みなれた地域で安心して生活できるよう、円滑な事業運営に努めてまいります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~

日程第5 議案第48号 平成18年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第5、議案第48号「平成18年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」の説明を求めます。

348ページ、市民生活部長説明を願います。

市民生活部長（関岡 勉） 議案第48号「平成18年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書345ページから356ページをご参照ください。平成18年度の歳入歳出予算につきましては、総額1,230万8千円で、前年比37.3%の減となっております。予算総額が減額となりました主な理由は、公債費の償還の減少に伴って歳入の住宅新築資金等補助金が95万9千円、基金からの繰入金を348万5千円、償還金を286万6千円減額したことが主な理由であります。長引く厳しい社会経済情勢の中でありまして、地区の生活実態は依然として厳しい状況にあります。貸付償還の向上につきましては、特別収納課と連携しながら夜間の家庭訪問等を行い、償還の促進とあわせて償還の意識向上に努めてまいります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~

日程第 6 議案第 49 号 平成 18 年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について  
委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第 6、議案第 49 号「平成 18 年度太宰府市公共用地先行取得  
事業特別会計予算について」説明を求めます。

建設部長。

建設部長（富田 謙） それでは、ご説明申し上げます。

議案第 49 号「平成 18 年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について」ご説明申し  
上げます。

ページで申しますと 357 ページから 362 ページまででございます。

本事業の歳入歳出総額は、7,982 万 8 千円でございます。平成 15 年 12 月に本事業の特別会計の  
条例を制定しまして、平成 16 年度から平成 19 年度まで 4 年間で一般会計の方へ買い戻している  
ところでございます。本年度で 3 年目となります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上  
げます。

以上でございます。

委員長（武藤哲志委員） 市長から提案理由の説明がございましたので、同じく建設部長か  
ら予算についての説明がありました。これで説明を終わります。

~~~~~

日程第 7 議案第 50 号 平成 18 年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について  
委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第 7、議案第 50 号「平成 18 年度筑紫地区介護認定審査会事  
業特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

健康福祉部長（古川泰博） 議案第 50 号「平成 18 年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算  
について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては 363 ページからとなっております。

筑紫地区では介護保険事業に係ります介護認定審査会を 4 市 1 町で共同設置し、介護認定審  
査に関します事務をとり行っております。事務局を担当します市町につきましては、2 か年ご  
とに輪番制とし、平成 17 年度、平成 18 年度は本市が担当市となっております。このようなこと  
から、今回本市において筑紫地区介護認定審査会事業に関する特別会計予算を計上するもので  
ございます。

平成 18 年度の歳入歳出予算総額は 7,410 万 5 千円で、前年度当初予算の 9,256 万円に比べまし  
て 1,845 万 5 千円の減額となっております。伸び率につきましては 19.94% の減となっております。

364 ページになります。歳入の主なものからご説明をさせていただきます。

1 款分担金及び負担金として認定審査会負担金を 7,407 万 9 千円計上いたしております。この

算出の根拠につきましては、関係市町の均等割及び審査件数割によるものでございます。各市町の負担金額につきましては369ページに記載をいたしておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

次に、歳出の主なものについてご説明をいたします。

364ページでございます。1款1項総務管理費の2,493万4千円につきましては、嘱託職員の人件費、介護認定支援システムの維持管理等に関します経費でございます。

続きまして、1款2項認定審査会費としまして介護認定審査会委員の報酬、費用弁償といたしまして4,817万1千円を計上いたしております。担当市であります2か年間介護認定審査会の効率的かつ円滑な運営に今後も努めてまいりたいと考えております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~

日程第8 議案第51号 平成18年度太宰府市水道事業会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第8、議案第51号「平成18年度太宰府市水道事業会計予算について」説明を求めます。

上下水道部長。

上下水道部長（永田克人） 平成18年度太宰府市水道事業会計予算についてその概要を説明いたします。

予算書1ページの業務の予定量等につきましては、本会議での市長の提案理由説明と重複いたしますので、4ページの事項別明細書からその主なものを説明いたします。

予算第3条の収益的収入及び支出であります。収入総額を前年度比12.6%増の12億3,701万7千円、支出総額を2.8%増の12億2,476万4千円といたしてありまして、差し引き1,225万3千円、税抜きにいたしまして702万3千円の純利益を予定しております。

営業収益の根幹を占めます給水収益は、前年度比1,034万3千円の増で10億5,412万3千円を予定いたしております。これは新たに4月から供給開始いたします大原団地約150戸分が増え、平成17年度決算見込み量の2.2%増の見込みをいたしております。

営業外収益の加入負担金につきましては、一般会計繰出金制度による高料金対策補助金を平成2年度から収益的収入に計上いたしてありましたが、補助金が平成16年度に廃止されたことに伴い、収益的収入の財源不足を補うため、予算第4条の資本的収入から営業外収益へ予算組み替えを行い、1億3,174万3千円を計上いたしております。

次に、予算書5ページ、営業費用につきましては、11億3,258万8千円で前年度比3,122万7千円、2.8%の増加をいたしております。主な要因といたしましては、2目大佐野浄水場原水及び浄水費1,714万3千円の増、及び9ページの6目減価償却費1,986万2千円の増によるものでございます。大佐野浄水場原水及び浄水費につきましては、福岡地区水道企業団からの受水費の

増が主なものでございます。

なお、6ページの水城浄水場原水及び浄水費並びに新落合浄水場原水及び浄水費につきましては、平成18年度から大佐野浄水場原水及び浄水費に組み入れ、廃目といたしております。

次に、9ページの営業外費用につきましては7,483万4千円で、前年度比143万4千円、1.9%の減少をしております。主な要因につきましては、企業債支払利息の減によるものでございます。

10ページ、3項特別損失の329万4千円、36.4%増につきましては、不納欠損処分額の増でございます。これにつきましては、従来地方自治法の規定による5年の時効でございましたけど、最高裁判所判例によりまして民法適用となったため2年時効になりました。そのことから、平成18年度からこれに沿った事務を行うため、平成12年度から平成15年度分滞納分について計上をいたしております。

次に、予算第4条の資本的収入及び支出につきましては、11ページの収入総額につきましては、1億5,360万円で前年度比4億7,834万2千円、率にいたしまして75.7%の大幅減となっております。これはさきにご説明いたしました加入負担金について予算第3条収益的収入への組みかえをしたこと、また平成17年度には2年国債の投資有価証券売却代金約5億円を計上していたことによるものでございます。

次に、12ページ、資本的支出総額につきましては10億2,814万7千円で、前年度比2億8,777万2千円、38.9%の増加をしております。これは主に資金の効率運用を図るため、投資の5億円を計上したことによるものでございます。

なお、本年度の配水管新設工事につきましては、通古賀地区再生整備事業で吉松及び国分地域の一部及び三条菅谷団地全域の2,225m、1億7,903万5千円を予定いたしております。

以上で概要説明を終わりますけど、14ページには資金計画、15ページから18ページには給与費明細、19ページに債務負担行為に関する調書、20ページから22ページには予定貸借対照表及び損益計算書を添付しております。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~

日程第9 議案第52号 平成18年度太宰府市下水道事業会計予算について

委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第9、議案第52号「平成18年度太宰府市下水道事業会計予算について」説明を求めます。

同じく上下水道部長。

上下水道部長（永田克人） 平成18年度太宰府市下水道事業会計予算につきまして、予算書1ページの業務の予定量等につきましては、水道事業会計予算同様割愛させていただきます。

4ページの事項別明細につきましては、収益的収入及び支出でございますが、収入総額を前年度比8.3%増の18億7,519万2千円、支出総額を1.7%減の16億6,079万7千円といたしております。

1 項営業収益の根幹を占めます下水道使用料は、前年度比0.7%増の11億5,739万2千円を予定いたしております。これは平成17年度決算見込み水量の1.6%増で、最近5年間の平均伸び率等を見込みまして計上いたしておるものでございます。

2 項営業外収益の1億399万8千円、20.6%増でございますけど、主に一般会計補助金について平成17年度に1億円減額していたことによるものでございます。

3 項特別利益の2,782万8千円につきましては、御笠川浄化センターの処理費用であります流域下水道維持管理負担金におきまして、これまで生じていました累積剰余金を各構成団体の汚水処理量で案分し、平成18年度から平成20年度までの3か年間で負担金の中で相殺する福岡県との覚書によりまして総額8,348万4千円、年額で2,782万8千円減額されることになりました。これを会計処理上支出には相殺前の負担金を計上いたしまして、相殺額については収入に振りかえるものというものでございます。

5 ページからの支出につきまして、営業費用10億585万9千円で前年度比1,084万4千円増加いたしております。この主な要因といたしましては、2 目の排水量増に伴います流域下水道維持管理負担金及び5 目の減価償却費の増によるものでございます。

次に、7 ページの営業外費用6億4,463万8千円で、企業債支払利息の減により前年度比4,069万5千円、率にいたしまして5.9%の減少をいたしております。

次に、資本的収入及び支出につきまして、8 ページから10ページでございます。

収入総額につきましては7億2,427万7千円で、前年度比3億7,891万2千円減少いたしております。これは建設改良補助対象事業の減少に伴い建設企業債、国庫補助金の減及び平成17年度には2年国債の投資有価証券売却代金を計上していたことによるものでございます。

9 ページの支出総額は14億239万7千円で、前年度比3,516万8千円減少いたしております。これにつきましては、公共下水道整備費の減によるものでございます。

なお、10ページの企業債償還金は8億7,736万8千円、前年度比6,105万2千円増加いたしております。

なお、本年度の污水管整備につきましては1,925m、主に通古賀、吉松の土地区画整理事業地内及びその周辺を予定いたしております。

雨水管整備につきましては、国分の陣ノ尾雨水幹線及び芝原雨水幹線312mを施工するように計画しております。

以上、概要説明を終わりますが、11ページに資金計画、12ページから15ページに給与費明細、16ページに債務負担行為に関する調書、17ページから予定貸借対照表及び損益計算書を添付しております。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

なお、本日委員の方に配付されております平成18年度太宰府市予算のただいま説明がありました審査資料要求書の提出について、再度確認をさせていただきます。

明日の午後1時までとなっておりますので、資料要求については時間を厳守いただきますよ

うお願いいたします。

~~~~~

委員長（武藤哲志委員） 以上をもちまして本日の予算特別委員会を散会いたします。

散会 午後 3 時38分

~~~~~